

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

生活に密着した区議会議員の仕事 に これからも全力を尽くします

新しい構成で品川区議会がはじまります。日本共産党は6名の議員団ですが、地域のみなさんから多くの願いを託されて元気に仕事にとりくみます。まず、公約実現の議論と質問準備がはじまりました。初めての議会は6月23日から、石田ちひろさんが一般質問を行います。

まず 公約実現に全力

東日本大震災後、区民の最も強い関心は防災に強いまちづくりでした。南は、選挙戦で「防災に強いまちづくり」を強く訴え、とりわけ住宅の耐震診断や家具転倒防止などの充実にとりくむと訴えましたので、すべてのお宅で家具転倒防止対策を活用できるようにすること、そのためにはむに署名運動も視野に入れてしっかり取り組みます。署名などのご協力をお願いします。

また、6月23日からはじまる第2回定例区議会では石田ちひろさんが一般質問をする予定です。

4年間の区議会の構成を決める作業から議論

選挙後の区議会は、まず4年間の議会構成をどうするか
の議論からはじまります。
会派届けを出して会派ごとに
幹事長などの役職など決め、

5月25日の臨時議会で確認
されます。私たちは全員が日
本共産党候補として支持をい
ただいたので、会派は「日本
共産党品川区議団」としてい
ます。

議会に提出された資料によ
ると6会派で、品川区議会自
民党11人、品川区議会公明
党8人、民主・改革ネット7
人、無所属品川6人、品川区
議会みんなの党2人です。

常任委員会の委員数とどん
な内容の特別委員会を設置す
るのかは今後の議論です。特
別委員会の性格はそのときの
区民要求などとの関係でテー
マや内容が決めるものなので、
日本共産党区議団の提案は、
防災問題と環境問題、保育園
や特養増設は引き続き重要な
課題なので、委員会を設置し
てしっかりと進めるべきだと
主張しました。

常任・特別委員会などの構成
については決まり次第報告し
ます。

高層住宅に効果あり 家具転倒防止策 安心して暮らせる耐震性の高い住宅を

大震災後の区議選で最も大きく訴えたテーマは、「住宅の耐震化促進」と「家具転倒防止策の助成対象拡大」でした。命を守る区政づくりに通じるので強い反応がありました。実現させるため早速、取り組みます。

大震災の時 高層住宅ほど大きくゆれ実態を見て

家具転倒防止は有効策

3月11日の東日本大震災は高層住宅ほど大きくゆれたために、家具の転倒や食器・本などが散乱する被害がたくさ

んありました。転倒防止策をしているところでは被害はほとんどなかったようです。

品川区は家具などの下敷による圧死をなくすために転倒防止の助成制度をつくりましたが、年間100件前後の申請で活用されているとはいえ

ません。しかし4月以降の申請は61件と増加、大震災の影響でしょう。南は65才以上の高齢者のみ世帯と障害者のみ世帯だけでなく、すべての区民が利用できるようにして、区民の命を守る区政をつくりたいと思います。

災害から命を守るためにも耐震性の強い住宅に

木造・非木造・マンションの建替え支援

住宅の耐震強度を強くすることも命を守る対策として重要です。これも、阪神淡路大震災後、耐震診断と強度を高める改修補強工事費用の助成を強く求め、2004年は耐震診断費用の助成制度、2年後の06年からは改修補強工事の助成制度を設定させました。しかし、経済的負担が大

きいために診断はしても改修工事に発展していかないのが現状でした。今年度からは右の表のよう

に助成額を増やして、取り組みやすいようにしましたので、命と財産を守るためにも活用を広げたいです。

	耐震診断費用	耐震改修費用	設計費支援
木造	6万円	150万円	
非木造	10万円	150万円	20万円
マンション	150万円	2500万円	100万円

生活・雇用・子育て・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523